

きのくに子ども NPO

2019. 8. 1. 発行

第 143 号
きのくに子ども NPO

〒640-8401

和歌山市福島487 ルミノープふい1C

Tel.Fax: 073-452-7710

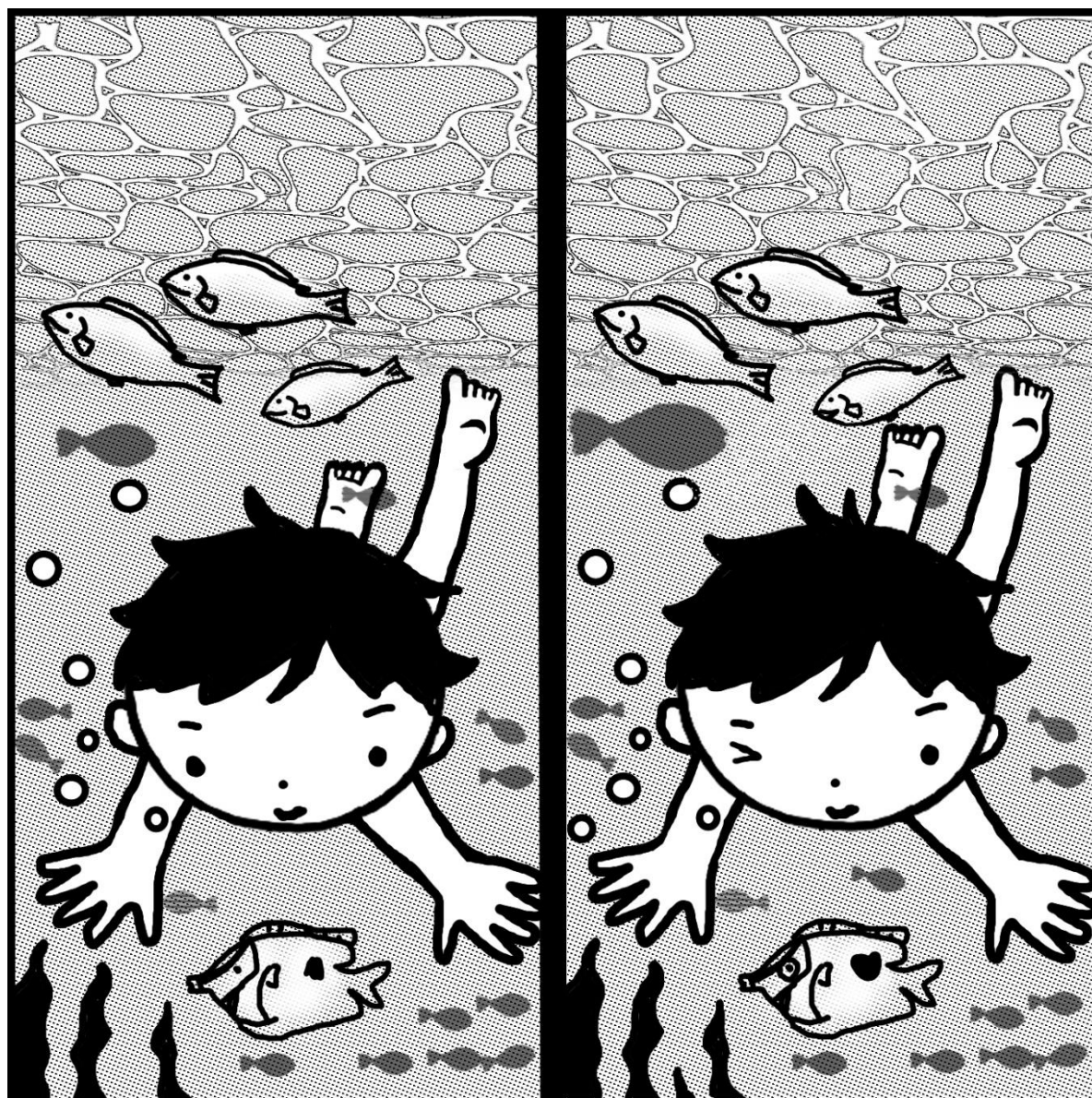
E-mail: kinokuni.kodomo@nifty.com

<http://kinokunikodomo.d.doo.jp/>



夏だ～！ イェーイ！ お楽しみ号！！

夏休み、きれいな南の海で素もぐりダイビング！！



【間違い探し】

よく似た絵だけと違うところがあるよ。探してみよう！

11 か所
あるよ！

答えは
3 ページ

舞台鑑賞

「かぜのうた」

表現教育研究所

9月6日（金）①11:00～ ②13:30～

中央コミュニティセンター 多目的ホール 小

0, 1, 2 歳児対象

小・中学生を持つ親の会

9月19日(水) 北コミュセン

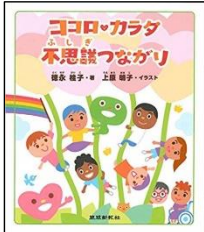
今回の親の会は、前回和歌山市保健対策課の講演会に参加して、命の大切さや思春期の身体の発達などについて聞いた内容の報告から始まりました。また、思春期の子どもの心や体の変化に対する親の戸惑いや、性教育で家庭で取り組んでいることなどを、子育ての悩みを交えながら、活発に意見交換が出来ました。

矢島有香子

親の会に参加して
上の息子も小学校高学年になり、心だ
けでなく身体も子どもから大人へと向
かう時期に入ってきました。性の話はな
んとなくはぐらかし話題にもならない
我が家。親の会に参加して、子どもが小
さい時からきつかけがあると話をして
いるママさんの話を聞いて正直驚いて
しまいました。
私の子ども時代は親より学校で習っ
た方が印象深く記憶に残っているので、
これでいいと思っていた私ですがお風
呂に一緒に入る時などきつかけがあれ
ば恥ずかしがらずにコミュニケーション
ンも取りつつ子ども達に伝えていき
たいです。
(藤原)

思春期の心と身体について、
親にも子どもにもおススメ本です！

「ココロ・カラダ 不思議つながり」



徳永桂子 著
琉球新報社
1350 円

男女の心と体の不思議、恋愛・妊娠・友情・夢・死・・・、親が子に伝えたいけど悩むテーマをカラー絵と読みやすい文字の大きさに伝えています。



表紙の間違い探しの答え

もりもりキッズ

泥んこあそび

6月11日(火)
にこにこのうえん



初めて泥んこ遊びに参加させて頂き親子共々楽しませてもらいました。普段の遊びでは、泥遊びをした事が無かったので子どもがどんな反応を示すか楽しみでした。

当日、水が張った田んぼを前に状況がわかっていない子どもの手を引いてずんずんと田んぼの中へ入って行き、泥の感触を感じて貰おうと泥の中を行ったり来たりを繰り返して行くうちに子どもも楽しくなってきたのか田んぼの中に座り込み泥をすくっては捨てを繰り返し泥遊びを心から楽しんでいる様に見えました。



それを周りで見っていたもりもりキッズのママさんたちに「子どもちゃん楽しそうね」「泥に入れるなんて凄いな」と声をかけてもらい
母親としてはそんな風に言ってもらえる事が嬉しい気持ちと、こうやって我が子が楽しんでいることを周りに知ってもらえるのはありがたい事だなと思いました。

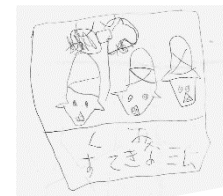
今回の泥遊びを通じてこの子は水遊びが好きなのかなということを感じかせて頂き、普段の生活ではわからなかった子どもの興味の幅が増えて良かったと思いました。(松田)

！？舞台鑑賞 観たかな？！

すてきな三にんぐみ 6月1日(日)
市民会館 市民ホール

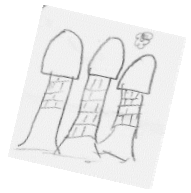


(年長) しょうた



(年長) しょうた
はじめ、こわかったけど、
さいごおもしろかったよ。

(小1) ほのか



(小3) まいか

斬新な演出でとても良かったです。テンポも丁度良く、幅広い年齢で楽しめる作品だと思いました。
唯一、一点、歌をもっと思いつき歌った方が良かったです。(大人)

モテたい症候群 6月23日(日)
あいあいセンター 多目的ホール



しみりとした曲でありながらデブリー二など曲調と歌詞のギャップがあったり、おもしろい曲があったり、とても楽しかったです。(大人)

更年期のうた、とか作
りたくなりました。
(大人)

ぐだぐだの心が、ちょっぴり
きれいになったかな？
足取り軽く帰れそうです。
(大人)

「すてきな三にんぐみ」

舞台について 鑑賞部

人気の絵本が原作という事もあり、期待いっぱい迎えた舞台鑑賞でした。泥棒に扮した三人の歌声を楽しめるミュージカルのはずでしたが、声量不足のためにお話が盛り上がりません。ストーリーもかわいそうなティファニーちゃんに寄りそうおじさんたちのお話になってしまい、原作から感じるものとは別の内容になっていました。
集中できない大人よりも、子どもたちの方が集中し楽しんでくれていたように思います。一所懸命に演じる様子や舞台セット、セリフなど興味を持ってくれる要素はたくさんあって、それらを面白がることのできる時期の子どもは少なからずいてくれたようでした。

ソフトバレーボール大会

7月6日(土)
河西緑地公園体育館



小三 みなみ じゃんじ
はじめてバレーボールにさんかしてみて、
さいしよは、サーブをうてるかなと心ばいた
ったけど、大人の人が前からうっていいよと
言ってくれたので、前であうてみたら、つま
らなくてよかったです。たのしかったです。



リベンジを頼んで土下座する青年・高校生チーム

序盤はみんなでバレー楽しもう！な雰囲気でしたが、終盤には熱い戦いが繰り広げられていました。高校生の若さ、勢い、団結力と、パパたちの熟練のスキルは、手に汗握る接戦を生みだしていました。次はボコボコにします。(高校生・馬場ひかり)